



東京芸術祭 APAF2020

アートトランスレーターアシスタント(日英通訳) 募集 国籍・居住地不問 / 応募締切 2020年8月6日(木)

「Asian Performing Arts Farm (APAF: エーパフ)」とは、アジアのアーティストたちが相互交流によって創造する力を高め、文化や国境を超えて活躍する人材への成長を目指す、東京芸術祭内の人材育成プログラムです。2020年は原則オンライン開催を予定しています。

| APAF2020 特設サイト <https://apaf.tokyo>

今、国際協働の現場においてコミュニケーションを仲介する「アートトランスレーター」の役割や、重要性が認識され、その評価が高まっています。

APAF2020では、未来のアートトランスレーターのための経験の場として、相磯展子コミュニケーションデザインディレクターのもと、オンラインで実施されるAPAF2020の通訳アシスタント業務を担当する、「アートトランスレーターアシスタント(日英通訳)」を募集します。

若手アーティスト等と連携しながら、アートトランスレーターとしての実践的な経験を積み、ノウハウを深める場です。

〈こんな方にオススメ〉

- ・ トランスレーターとして舞台芸術の現場を経験したい方
- ・ 舞台芸術を巡る課題やアジアの文脈に関心がある方
- ・ アートの現場での国際協働におけるコミュニケーションのあり方について考えたい方
- ・ 今後アートトランスレーターとして活動をしていくことに興味がある方

〈オンライン説明会実施〉 7月23日(木・祝) 20時～ ※詳細はAPAF2020特設サイトにてご確認ください。

コミュニケーションデザインディレクター 相磯 展子

トランスレーターはよく、創作の場から切り離された「黒子」や、言語を変換する「機械」のような存在だと思われがちです。しかし、様々な文脈や表現を扱う芸術の領域においては、国際協働の現場ごとにコミュニケーションの形が存在します。そして、その中でのトランスレーターの言葉の選び方や発話方法(身振り、声色など)、周囲との関わり方は、現場のあり方や作品にまで影響を与えます。アートトランスレーターの仕事とは、人と人の間に立つメディエーター(媒介者)として、創造の場に能動的に加担していくことです。それはアーティストと同じ視座に立ち、緊密に連携しながらコミュニケーションを構築していくことで、作品制作の場を創造する営みです。それは決して画一的な作業ではなく、ある種のクリエイティビティーさえ要する行為かもしれません。トランスレーションやコミュニケーションの可能性と一緒に模索したいという好奇心旺盛な方にぜひ応募して頂きたいと思います。そして今回の経験が未来のアートトランスレーターを生むきっかけになることを期待しています。

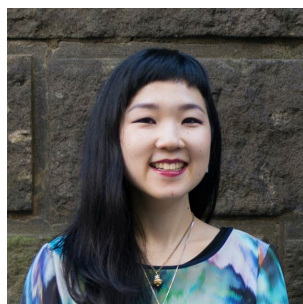


Photo by Fuyumi Murata

相磯 展子 (あいそ・のぶこ)

アートの分野を専門とする翻訳・通訳団体Art Translators Collectiveのディレクター・共同設立者。現代アートや舞台芸術をはじめとする日英翻訳・通訳を行う。メディエーター／ファシリテーターとして発話者に寄り添い、対話の可能性を広げていくことを目指す。2017年にはAsia TOPAのストーリーテリングイベント「Stories for the Dead」に出演。幼少期に渡米し、これまでロサンゼルス、シカゴ、ハロゲイト(英国)に滞在。慶應義塾大学総合政策学部卒業。東京大学超域文化科学専攻表象文化論コース中退。

コミュニケーションデザインディレクター制度

APAFでは国や文化等の異なるメンバーが集まる国際協働の現場において、コミュニケーション、対話の方法や質が及ぼす影響について積極的に検証、議論し、指針を示していくためコミュニケーションデザインディレクター制度を導入しました。

募集概要

■対象

- ・アートトランスレーターアシスタント(日英通訳)

■日程

- ・**2020年8月17日(月)～10月25日(日)で各参加者と調整**（週2～3日以上活動ができることが望ましい）
- ・オリエンテーションは8月17日(月)に実施。※時間未定
- ・APAF2020の実施スケジュールは【別紙】を参照。

■仕事内容

- ・以下のいずれかを担当。（具体的な担当内容は相談の上、決定）
 1. APAF Exhibition*のオンライン国際共同制作の通訳（日英）
メインのトランスレーターと連携しながら、創作におけるコミュニケーションのサポートを行います。
 2. APAF Lab*におけるオンラインディスカッションの通訳（日英）
参加アーティスト等に付き、対話のサポートを行います。
- ・その他、日英でのテキスト執筆・翻訳業務（活動レポート、SNS投稿文等）。
- ・原則、業務はオンライン上で実施。
- ・期間中はAPAFコミュニケーションデザインディレクターのもと、業務を実施。

*APAF ExhibitionおよびAPAF Labの詳細は【別紙】を参照。

■応募資格（国籍・居住地不問）

次の1～5のすべてにあてはまる方

1. 日英通訳ができる語学力がある方
2. 原則20歳以上
3. 原則、2020年8月17日(月)～10月25日(日)で最低1ヶ月以上、週2～3日の活動が可能
4. オンラインでの活動に必要な環境を整えられる方
 - セキュリティに問題がないインターネット接続環境
 - グループビデオ通話、動画閲覧、大容量ファイルのダウンロード等に十分に対応できるインターネット接続環境
 - Zoomのグループビデオ通話*、Slack、One Drive が利用できる端末（使用ツールは参加者の状況やプログラム内容に応じて追加、変更となる可能性あり）
*Zoomの使用に必要なシステム要件：<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023>
 - スマートフォンのみでの参加は非推奨
5. アーティスト等の参加者と信頼関係を築きながら業務を遂行する意思のある方

■待遇

- ・アシスタント謝金：5～10万円程度（税込）

※詳細は相談により決定

※移動が発生した場合は、交通費別途支給（1日あたり上限1,000円）

■募集人数

5名程度

■募集期間

2020年7月14日(火) 16:00～8月6日(木) 23:59（日本標準時）

■選考方法

APAFコミュニケーションデザインディレクターによる選考を実施します。

- ・一次選考：書類審査
- ・二次選考：オンライン面接
（8月9日(日)、8月10日(月・祝)、8月11日(火)のいずれか1日、1時間程度を予定）

(応募方法は、次ページ)

■ 応募方法

以下、応募フォームより必要事項を入力の上、送信してください。

応募フォーム <https://form.run/@apaf2020ata>

<必要事項>

1. 氏名
2. 活動拠点（都市名、複数ある方は全て）
3. 生年月日
4. メールアドレス
5. 連絡先住所（日本在住者のみ記入）
6. 日中連絡のつく電話番号
7. 職業（所属など）
8. 略歴（400字または250ワード以内、日英どちらでも可）
※海外経験等、言語のバックグラウンドが分かるもの
9. 英語（もしくは日本語）レベルが分かる資格等（あれば）
10. 下記の中で得意とするものを選択してください
日英 通訳 ・ 英日 通訳 ・ 日英、英日 通訳両方
11. これまでの通訳経験（あれば）
※分野、形式（アテンド、商談通訳等）、方法（逐次・ウィスパリング・同時）など、
なるべく具体的に書いてください。
12. 応募動機（400字または250ワード以内、日英どちらでも可）
13. オンラインミーティング等に使用する機材（選択式／複数選択可）
※オンラインでの活動に必要な環境は「応募資格」をご確認ください
14. 参加に際して使用するネットワーク環境
15. 8月17日(月)～10月25日(日)で参加ができない期間（あれば／応募時点の情報で可）
16. 一週間あたりの参加可能日数（応募時点の情報で可）
17. オンライン面接の実施日程 8月9日(日)、8月10日(月・祝)、8月11日(火)で、面接が不可な日程（あれば）
18. 応募にあたって事務局への連絡事項など

■ 応募締切

2020年8月6日(木) 23:59（日本標準時）

■ 結果発表

合否に関わらず、選考の結果は応募者全員にメールで通知します。

必ずメールでの連絡が受取れるようPCや携帯電話の設定をご確認ください。

一次選考結果発表：2020年8月8日(土)までに通知

■ 留意事項

お預かりした個人情報には厳重に保管し、本企画に関する諸連絡以外に使用することはありません。

【お問い合わせ】 APAF制作オフィス MAIL : apaf@tokyo-festival.jp TEL : 03-4213-4293（平日10時～19時）

主催：東京芸術祭実行委員会〔豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、フェスティバル/トーキョー実行委員会、公益財団法人東京都歴史文化財団（東京芸術劇場・アーツカウンシル東京）〕

【別紙】

■ APAF2020 プログラム について

・ APAF Lab

APAF Lab は、作品等の成果物に向かうのではなく、多国籍・多文化の参加者がリサーチ、ディスカッションを重ね、作り手としての基盤を養うとともに、自身の活動や舞台芸術の未来への視座の獲得を目指します。2か月間（8月後半～10月後半）の期間中は、ファシリテーター3名が参加者に伴走し、最終日には一般公開のプレゼンテーションを実施します。これからのアジアの舞台芸術界をつくる自立した人材が集まるアートキャンプです。

・ APAF Exhibition

国や文化等の異なるアーティスト達が、アジアのトランスカルチャーを背景に国際コラボレーション作品を創作・発表し、観客からのフィードバックを得ます。これまでの経験とは違った創作方法やコミュニケーションを模索するトライアルの機会を得ることで、個人の成長や国際協働による舞台芸術の発展を目指しています。現在、リモート制作、オンライン発表の準備を進めています。詳細発表は8月頃の予定です。

※そのほか、国際協働の感覚を養いたい20代のアーティスト等を対象として、日本語で実施する「APAF Young Farmers Camp」を実施します。

■ 実施スケジュール

・ APAF2020 会期

2020年10月20日(火)～25日(日)

・ APAF Lab プログラム期間

2020年8月20日(木)～10月25日(日)

| | |
|----------------------------|---|
| 前期活動 | 8月20日(木) 8月27日(木) 9月3日(木) 9月10日(木) |
| 中間プレゼンテーション | 9月17日(木) |
| 後期活動 | 9月24日(木) 9月28日(月) 10月1日(木) 10月5日(月) 10月8日(木) 10月12日(月) 10月15日(木) 10月19日(月) 10月22日(木) |
| 最終公開プレゼンテーション 準備 および 発表 | 10月20日(火)～10月25日(日) |

※いずれも時間未定。

・ APAF Exhibition プログラム期間

2020年8月20日(木)～10月25日(日)

| | |
|---------|----------------------------|
| クリエイション | 8月20日(木)～ |
| 発表 | 10月20日(火)～10月25日(日)の間で3日程度 |

※いずれも時間未定。

以上は、2020年7月14日時点の情報です。内容は変更となる場合もございます。